

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	転倒骨折予防事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 後藤博康
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名 安武志穂
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実	所属班	包括支援センター班	(内線) 2118
				法令根拠	介護保険法第115条の44	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6
	30	11	1	2	11266			コスト削減優先度評価結果	—
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
転倒骨折予防に関する知識を普及するため、地域に出向いて健康教育を実施する。

【業務の流れ】
健康教育の実施、参加者の骨密度測定

【主な予算費目】 委託料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 介護予防のための健康教育(講話)及び骨密度測定を実施し科学的な指標を本人が把握し生活習慣を見直すことができるようにする。食事や運動メニューの実践指導を実施する。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 地域に出向き介護予防のための健康教育(講話)及び骨密度測定を実施し科学的な指標を本人が把握し生活習慣を見直すことができるよう指導する。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	一般高齢者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 地域出前型教室開催回数・参加者 回・人 イ 一般募集型教室開催回数・参加者 回・人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	高齢者が食事に注意し運動習慣を身につけ、骨粗しょう症を予防することができる。転倒骨折による要介護認定者を減らす。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 高齢者数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	健康である	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 骨密度が増加・改善した人の割合 % イ 転倒経験者数の減少
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 高齢者に占める特定高齢者の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		～ 年度
事業費	国庫支出金	千円		28	293	106	115	125	総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)	
	都道府県支出金	千円		14	146	52	57	62		
	地方債	千円								
	その他	千円		13	584	584	213	230		250
	繰入金	千円		266	147	147	53	58		63
	一般財源	千円								
(A) 事業費計	千円	0	321	1,170	1,170	424	460	500	0	
うち指定経費	千円									
うち時間外、特殊勤務手当	千円									
人件費	正規職員従事人数	人	1	2	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	120	30	50	311	310	310	310	
	(B)人件費計	千円	476	119	199	1,238	1,234	1,234	1,234	
トータルコスト(A)+(B)	千円	476	440	1,369	2,408	1,658	1,694	1,734	0	

活動指標	ア 回・人 イ 回・人	9回・251人	20回・651人	30回・900人 24回・30人	28回・883人 4回・91人	30回・900人	30回・900人	30回・900人	目標合計値 22年度
対象指標	ア 人 イ	9,877	10,114	10,352	10,503	10,589	10,827		
成果指標	ア % イ			10	10	10	10	10	
上位成果指標	ア % イ	0.4	4.96	3	4.63	3	3	3	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成18年度地域包括支援センターが設置されてから介護予防のため事業開始。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
法的根拠はなし。要介護認定者のうち、「筋骨格系の疾患」の割合が高く、予防対策が必要である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
固定化された一部の地域で事業を実施しているため、事業を実施されていない地域で実施してほしい。という要望はある。

事務事業名	転倒骨折予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 介護予防的観点から、高齢者を対象としており、意図する結果に結びつける。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 介護予防の考え方を早期から高齢者に定着させることで、高齢者の自己実現や生活の質(QOL)の向上、介護保険給付費、医療費等の財源節約ができる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 高齢者全般を対象としており適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 固定化された地域で実施しているので、事業を実施されていない地域で実施する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 予防的施策は今後拡充して展開する必要があるため、廃止・休止はありえない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 健康づくり事業等との連携
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 平成20年度は社協に委託し、従来の出前型に加えて一般を対象とした教室型の事業を開催したが、21年度は職員が対応する予定であるため、事業費は削減できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 平成20年度は一部をアウトソーシングで実施したが、最小限の時間であり削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地域への出前型については、老人会やサロンを自主的に実施されている場へ訪問し指導する。一般募集型教室については、教材費・保険料等は自己負担しており公平・公正だと考える。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持低下	○		
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持低下	○																

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

介護予防も健康づくりも継続して実施していくことにより、効果を発揮する。1年に1回程度の出前教室では継続できるか不安である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	8	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)